

title: 研究室の引っ越しについて

date: 2013年8月1日

D3の原です。2013年度も早4ヶ月余りが経過しましたが、今回は我々の研究室にとって、一大イベントであった研究室の引っ越しについて、簡単にレポートしたいと思います。

私たちの研究室は2006年に豊川キャンパスから、東山キャンパスの東端にある共同教育施設1号館という建物に引っ越してきました。東山キャンパスにある大部分の建物が、ここ数年の間で改築・耐震補強が行われ、共同教育施設1号館のような昭和の佇まいを色濃く残す建物(?)がずいぶん少なくなっていますが、昨年度末、ついに我々の研究室が引っ越す新棟が共同教育研究施設1号館のすぐ目の前に完成しました。新棟は8階建て、3階より上は吹き抜けとなっているのが特徴です。また、これまで、共同教育施設1号館と宇宙線ドームという異なる場所にいた太陽地球環境研究所の研究室が、ついに1つの同じ建物に集合することとなりました。そして、去る2013年3月7日に新棟(つい最近、新棟の名称が研究所共同館に決まりました)に引っ越しをしました。



これまで研究室が入っていた共同教育施設1号館。



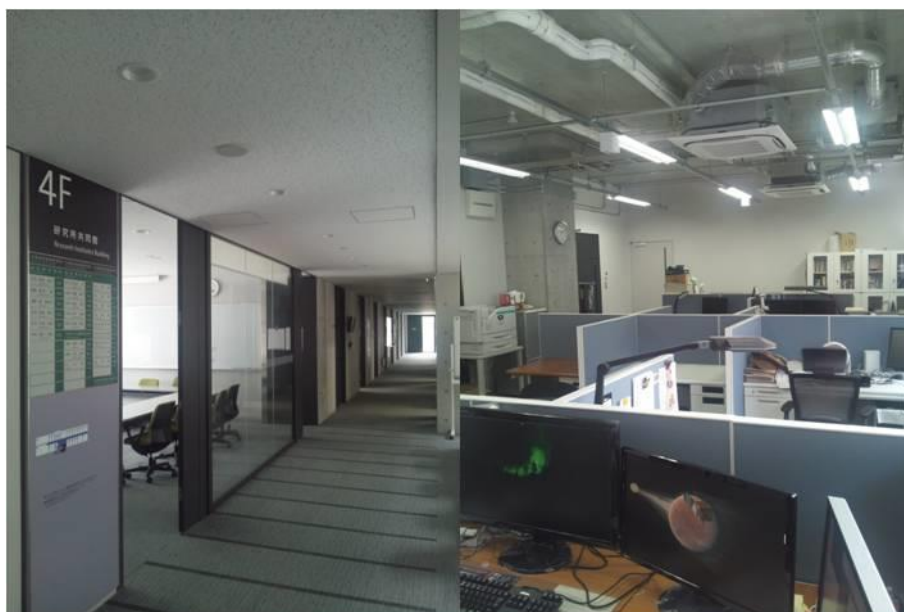
(左)完成した新棟(研究所共同館)と, (右)新棟 4F から撮影した吹き抜け.

引っ越すまでの1ヶ月前くらいから, 徐々に引っ越しの準備が始まり, 各自自分の荷物を段ボールに積める作業が行われ, 引っ越し直前には箱詰めされた段ボールが研究室のあちこちにうず高く積まれていました。やはり研究室に在籍した年数に応じて個人の荷物は増えてしまうようで, 先生方の段ボールの数は, 少なくとも学生の数倍程度は多かったようです。



引っ越し用段ボールの数が研究室で(たぶん)最も多かった家田先生(左)と, 引っ越しが無事に終わられるか途方に暮れる三好先生(右).

そして引っ越し当日は、引っ越し業者さんによって荷物や各自の机・椅子が新棟に運び込まれていきました。新しい部屋での机や什器の位置等を事前に入念に検討していましたが、なにより研究室のメンバーの協力のおかげで、大きな問題も発生せずに予想よりも早い時間で無事に引っ越しを完了することができたと思います。しかし、引っ越しの様子をおさめた写真を探してみたところ、1枚も見当たらずやっぱりその当時は写真をとる余裕はなかったみたいです。私たちの研究室が入ったのは4階の1フロアと3階の一部屋で、一部の研究室では壁がなんとガラスになっていますので、廊下から研究室を見通すことができるようになっています。



*SSt 研が引っ越した新棟 4F のフロア(左)、報告者の座席から見た新しい研究室の様子(右)。*

引っ越しが終わって約3ヶ月が経過した今年5月末から、旧棟と呼ばれるようになった共同教育施設1号館の解体工事が開始されました。解体工事のために旧棟への立ち入りが禁止になる直前に、最後に旧棟を訪れてみましたが、最後に自分がいた居室や、研究室のメンバーが昼食をとっていたランチルームに入ってみると、旧棟で過ごした日々が思い出され、とても懐かしい気持ちになりました。解体工事は新棟を建設していた期間に比べて、あっという間に進んでいき、日を重ねるごとに旧棟はみるみるうちに姿を消していきました。そして8月を迎える頃には、解体作業はほぼ完了し、旧棟があった場所は更地となりました。私自身、合計で丸4年間の大半を旧棟で研究をしてきましたので、その建物が徐々になくなっていくのを見ていると、少し寂しい気持ちになりました。



引っ越し完了後の、旧棟が立ち入り禁止になる直前に撮影した、報告者が最後にいた研究室(左)とランチルーム(右).

ある偉い先生が、STE 研が入った旧棟を見て「古い建物の方が却って研究に専念できる(だからこそ STE 研は最先端の研究ができる)」とおっしゃっていたのを記憶しています。これからは、最新の環境が整った建物に移ったのだからこそ、最先端の研究をしていくという意気込みで、日々の研究を頑張っていこうと思います。



旧棟の取り壊し工事の様子(左:2013年6月中旬撮影)と、新棟4Fのミーティングルームにあるテラスから撮影した更地となった旧棟跡地(右:2013年8月撮影).